

「当たり前とと思っていることに 疑問を持つことが差別解消への第一歩！」③



私たちの生きる現代社会は、携帯電話やパソコンなどの情報機器の発達やAI（人工知能）の開発などにより生活が変化を遂げ、とても便利になりました。しかし、その便利さとは裏腹に人の痛みが分かる想像力が乏しくなっていると言われてます。社会問題になっているインターネット掲示板などへの悪質な差別書き込みやいじめ問題などは、それが要因の一つになっているのではないのでしょうか。

本市がこれまで推進してきた「人権教育」は、人間としての生き方の教育であり、いわば人間尊重を基盤とした「命の教育」です。それは、**自分の命と自分自身をかけがえのない存在として大切にしていくこと**。そして、**全ての人々が同じよう**にかけがえのな

市教育委員会生涯学習人権課 ☎088・686・8803
市役所人権推進課 ☎088・684・1148

い存在として多様な生き方を認め合い、ともに生きること。私たちは学校や社会を問わず、一生涯かけてそのような**生きる力の基になる想像力を養う**ための努力を続けることが必要です。そして、その力を基に**豊かなつながりを築いていく**ことが、同和問題をはじめ、さまざまな人権問題を解決していくためには大切になってきます。

私たちは、**今一度自分自身や生活を見つめ直し、「みんながしているから」、「昔から言われているから」と何の疑問も持たずに信じ込むのではなく、「正しく知り、じっくり考え、確かな行動をする」**ことを常に実践し、「**人権尊重のまち鳴門**」を目指して、一人ひとりの力を合わせて、**共につながっていきましょ**う。